



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日
東

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所
 コード番号 9438 URL <https://www.mti.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前多 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)松本 博 (TEL)03(5333)6323
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け (オンデマンド配信))

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績 (2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	6,304	3.0	553	△5.5	495	22.4	220	△4.7
2020年9月期第1四半期	6,118	△10.8	586	△29.3	404	△53.4	231	△57.4

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 145百万円 (△38.4%) 2020年9月期第1四半期 236百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	4.04	4.01
2020年9月期第1四半期	4.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	29,450	21,032	64.3
2020年9月期	30,547	21,510	62.7

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 18,937百万円 2020年9月期 19,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,750	△1.5	1,000	△30.9	1,000	△23.7	650	△47.8	11.89
	～13,250	～2.3	～1,200	～△17.1	～1,200	～△8.4	～850	～△31.8	～15.55
通期	25,500	△2.2	2,100	△16.2	2,100	0.8	1,300	156.4	23.79
	～26,500	～1.6	～2,500	～△0.3	～2,500	～20.0	～1,700	～235.3	～31.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期1Q	61,170,900株	2020年9月期	61,144,600株
2021年9月期1Q	6,516,403株	2020年9月期	6,511,616株
2021年9月期1Q	54,645,883株	2020年9月期1Q	54,649,714株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3～4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

証券アナリストおよび機関投資家に対する第1四半期決算説明会は、オンデマンド配信の形で当社ホームページに掲載します。決算説明会資料は2021年2月10日(水)、オンデマンド配信動画は2021年2月12日(金)にそれぞれ掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年9月期 第1四半期の概況 (2020年10月1日～2020年12月31日)

当社グループの当四半期における事業環境において、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が日本経済に大きな影響を及ぼしている状況にあります。このような中、同感染症拡大による当社グループへの影響は軽微なものであり、将来の持続的な成長に向けてコンテンツ事業およびヘルスケア事業において、様々な取り組みを行いました。

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会者獲得を拡大させるとともに、コミック配信事業者向けへのオリジナルコミック作品の月間提供数を拡大させました。

ヘルスケア事業では、診療報酬制度改定に伴い導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大を図るべく、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携を行い、オンラインセミナーを積極的に開催しました。

これらのことにより、売上高は6,304百万円(前年同期比3.0%増)、売上総利益は4,711百万円(同4.9%増)となりました。

営業利益については、売上総利益の増益がありましたが、人件費や外注費等の増加に伴う販売費及び一般管理費(販管費)の増加により、553百万円(同5.5%減)となりました。

経常利益については、営業利益の減益がありましたが、持分法による投資損失の減少に伴う営業外費用の減少により、495百万円(同22.4%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の増益がありましたが、主に特別利益の減少により、前年同期とほぼ横ばいの220百万円(同4.7%減)となりました。

連結業績

(2020年10月1日～2020年12月31日)

	2021年9月期 第1四半期	2020年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	6,304	6,118	+186	+3.0
売上原価	1,593	1,627	△34	△2.1
売上総利益	4,711	4,490	+220	+4.9
販管費	4,157	3,904	+253	+6.5
営業利益	553	586	△32	△5.5
経常利益	495	404	+90	+22.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	220	231	△10	△4.7

販管費内訳

(2020年10月1日～2020年12月31日)

	2021年9月期 第1四半期	2020年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	4,157	3,904	+253	+6.5
広告宣伝費	337	248	+88	+35.5
人件費	1,743	1,537	+205	+13.4
支払手数料	789	829	△40	△4.9
外注費	441	305	+135	+44.4
減価償却費	272	307	△34	△11.3
その他	573	675	△101	△15.0

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業には、女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』および医師相談サービス『カラダメディカ』以外のBtoC型の月額課金サービスのほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供しているオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は378万人（2020年9月末比10万人減）となりました。有料会員数の純減傾向は続いています。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の携帯ショップ経由での新規入会者獲得が好調に推移していることにより、有料会員数の純減幅は縮小傾向にあります。

売上高は、前年同期対比で有料会員数が減少していますが、音楽配信サイト『musicco』等の事業譲受けによる効果等により、4,848百万円（前年同期比1.3%減）となり、営業利益は、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』向けの広告宣伝費の増加を主因に1,709百万円（同5.0%減）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額有課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、オンライン診療・オンライン服薬指導、母子手帳アプリ等）が属しています。

同事業の有料会員数は70万人（2020年9月末比1万人減）となりました。一方、診療報酬制度改定に伴い導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に最注力し、2020年12月末の同店舗数は451（2020年9月末比94増）となりました。

売上高は、前年同期対比で「クラウド薬歴」の導入店舗数拡大による初期導入売上高が拡大し、922百万円（前年同期比7.8%増）となりました。営業利益については、先行投資費用負担が大きく、351百万円の損失（前年同期は396百万円の損失）となりました。

③その他事業

その他事業には、BtoB型のフィンテック事業、連結子会社(株)Automagiで展開するAI事業、および法人向けソリューション（システム・アプリの受託開発）事業が属しています。

法人向けソリューション事業の売上高が拡大したことにより、売上高は820百万円（前年同期比41.6%増）となり、営業利益は101百万円の損失（前年同期は134百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は29,450百万円となり、2020年9月末対比1,096百万円減少しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少を主因に902百万円減少し、固定資産では主に顧客関連資産および繰延税金資産の減少を主因に194百万円減少しました。

負債の部については、流動負債では未払費用および未払法人税等の減少を主因に541百万円減少し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより77百万円減少しました。

純資産の部については、親会社株主に帰属する四半期純利益として220百万円を計上した一方で、配当金の支払いがあったこと、新株予約権および非支配株主持分が減少した等により477百万円減少しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ヘルスケア事業の売上拡大および赤字縮小に注力するとともに、コンテンツ事業では、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の拡大を通じて有料会員数をできるだけ維持すること、オリジナルコミッ

ク作品提供事業の拡大に取り組んでいきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、お客様のライフステージを長期間サポートすることによりストック型ビジネスになり得ることが見込まれるため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施しています。

特に診療報酬制度改定に伴い導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先の株式会社メディカルホールディングスとの連携を行いながら販売拡大を積極的に推進していく方針です。

「オンライン診療」および「オンライン服薬指導」についても、有償契約の拡大および利用率の向上に向けた対応を行っていくことを通じて中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

なお、2021年9月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想は、2020年11月4日に発表しました数値から変更はありません。

2021年9月期 第2四半期（累計）連結業績予想
(2020年10月1日～2021年3月31日)

売上高	12,750 ～ 13,250	(△1.5 ～ +2.3%)
営業利益	1,000 ～ 1,200	(△30.9 ～ △17.1%)
経常利益	1,000 ～ 1,200	(△23.7 ～ △8.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	650 ～ 850	(△47.8 ～ △31.8%)

2021年9月期 通期連結業績予想
(2020年10月1日～2021年9月30日)

売上高	25,500 ～ 26,500	(△2.2 ～ +1.6%)
営業利益	2,100 ～ 2,500	(△16.2 ～ △0.3%)
経常利益	2,100 ～ 2,500	(+0.8 ～ 20.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300 ～ 1,700	(+156.4 ～ +235.3%)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,354,028	12,948,850
受取手形及び売掛金	4,840,902	4,441,232
その他	1,585,024	1,488,359
貸倒引当金	△36,222	△36,744
流動資産合計	19,743,732	18,841,697
固定資産		
有形固定資産	193,757	176,240
無形固定資産		
ソフトウェア	1,281,608	1,329,341
のれん	692,054	641,256
顧客関連資産	1,755,000	1,649,700
その他	35,437	38,128
無形固定資産合計	3,764,099	3,658,426
投資その他の資産		
投資有価証券	4,536,380	4,552,358
敷金及び保証金	493,882	504,989
繰延税金資産	1,766,869	1,664,926
その他	74,487	78,077
貸倒引当金	△25,824	△26,024
投資その他の資産合計	6,845,793	6,774,326
固定資産合計	10,803,650	10,608,993
資産合計	30,547,383	29,450,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,101,925	1,030,593
1年内返済予定の長期借入金	451,780	451,780
未払金	1,333,898	1,202,750
未払法人税等	701,022	236,328
賞与引当金	—	195,972
ポイント引当金	110,690	111,585
その他	1,067,387	996,569
流動負債合計	4,766,705	4,225,579
固定負債		
長期借入金	2,881,570	2,769,465
退職給付に係る負債	1,381,767	1,415,949
その他	6,756	6,824
固定負債合計	4,270,094	4,192,239
負債合計	9,036,799	8,417,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,138,116	5,149,899
資本剰余金	6,551,222	6,503,213
利益剰余金	10,707,058	10,489,096
自己株式	△3,283,663	△3,287,585
株主資本合計	19,112,733	18,854,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,897	53,969
為替換算調整勘定	△11,666	△15,927
退職給付に係る調整累計額	46,010	44,560
その他の包括利益累計額合計	54,241	82,603
新株予約権	345,299	215,958
非支配株主持分	1,998,309	1,879,685
純資産合計	21,510,583	21,032,872
負債純資産合計	30,547,383	29,450,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	6,118,127	6,304,514
売上原価	1,627,492	1,593,032
売上総利益	4,490,635	4,711,482
販売費及び一般管理費	3,904,628	4,157,761
営業利益	586,006	553,720
営業外収益		
受取利息	22	16
受取配当金	7,067	—
負ののれん償却額	2,279	—
助成金等収入	999	20,070
その他	8,485	10,522
営業外収益合計	18,853	30,609
営業外費用		
支払利息	99	1,737
持分法による投資損失	194,231	83,336
為替差損	2,017	—
貸倒引当金繰入額	—	205
その他	3,967	3,788
営業外費用合計	200,315	89,067
経常利益	404,544	495,262
特別利益		
投資有価証券売却益	83,624	2,934
特別利益合計	83,624	2,934
特別損失		
減損損失	—	76,949
固定資産除却損	48,659	5,586
投資有価証券評価損	—	11
特別損失合計	48,659	82,547
税金等調整前四半期純利益	439,509	415,649
法人税、住民税及び事業税	153,928	203,187
法人税等調整額	80,874	95,221
法人税等合計	234,803	298,408
四半期純利益	204,706	117,240
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,648	△103,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,354	220,530

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	204,706	117,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,566	17,444
為替換算調整勘定	1,573	△4,538
退職給付に係る調整額	1,570	△1,449
持分法適用会社に対する持分相当額	33,206	16,905
その他の包括利益合計	31,784	28,362
四半期包括利益	236,490	145,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,138	248,892
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,648	△103,289

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,877,639	823,684	416,802	6,118,127	—	6,118,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,513	31,995	162,272	227,781	△227,781	—
計	4,911,153	855,680	579,075	6,345,909	△227,781	6,118,127
セグメント利益 又は損失(△)	1,799,618	△396,298	△134,882	1,268,437	△682,430	586,006

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△682,430千円には、セグメント間取引消去3,142千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△685,573千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンテンツ事業」セグメントにおいて、株式会社TSUTAYAより『TSUTAYA ミュージコ♪』等の音楽配信事業を取得したことにより、当第1四半期連結累計期間にのれんが3,203,711千円発生しています。

なお、のれんの金額は当第1四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため暫定的に算定された金額です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,790,314	876,050	638,150	6,304,514	—	6,304,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,073	46,756	182,078	286,908	△286,908	—
計	4,848,388	922,806	820,229	6,591,423	△286,908	6,304,514
セグメント利益 又は損失(△)	1,709,855	△351,811	△101,505	1,256,539	△702,818	553,720

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△702,818千円には、セグメント間取引消去△6,885千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△695,933千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	—	76,949	76,949	—	76,949

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来経営資源の配分や業績評価を当社全体で行っていたことから「コンテンツ配信事業」を単一の報告セグメントとしていましたが、当連結会計年度より事業部・サービス区分等をもとに内部管理上の区分を見直したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「コンテンツ事業」、「ヘルスケア事業」、「その他事業」の3区分に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生および重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。